

【KURADASHI.jp会員の皆様へ】

ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)は、被災地での災害支援活動や災害に強い社会作りに取り組む非営利団体です。

災害はいつどこで発生するかわかりません。今年は、九州北部豪雨、台風18号・21号などの影響で、各地で水害による被害が発生しています。全国21箇所の市町村で災害ボランティアセンターが設置され、被災地の内外から様々な方が集まり支援活動が行われています。

PBVでは、日本国内外において地震、津波、台風などの自然災害が発生した際、現地に速やかに専門家を派遣し、被災地での災害支援活動が円滑に行われるよう現地の災害ボランティアセンターのサポートや現場の作業コーディネーターの派遣、ボランティアの派遣、生活再建支援などを行っています。

いつもご支援いただき心より感謝申し上げます。皆様のご支援は被災された方々が一日も早く安心して生活できるように活用させていただきます。

今後ともご支援を宜しくお願い致します。

2017年九州北部豪雨 緊急支援活動レポート

2017年7月5日に発生した九州北部豪雨の影響で、3,281棟もの家屋への被害が発生しました。

PBVは福岡県の東峰村、朝倉市にて地元の社会福祉協議会や行政、NPOと連携し、住民のニーズに合わせて丁寧な支援活動を展開しています。

清掃活動

今回の風水害では浸水被害や、流木、土砂の被害が広範囲に及んでいて、地域によっては未だ土砂が家屋に流れ込んだままの場所や、孤立状態の場所もあります。

住民は、生活再建が進まないことや避難生活の長期化により心身ともに疲弊してきています。

PBVは、現地災害ボランティアセンターの運営をサポートしながら、土砂出し、家財の搬出、生活水路の土砂出しなどの清掃活動を行なっています。



仮設住宅への支援

東峰村・朝倉市では応急仮設住宅の建設・入居が進むなか、入居者にとっては生活に必要な家財や日用品をそろえることが大きな負担になっています。

PBVでは仮設住宅の入居者へ、生活に必要な家電・日用品を提供しています。役場と相談するとともに、入居予定者に事前に話を伺い、支援する生活備品を選定しました。

応急仮設住宅以外にも、公営住宅に入居された世帯やみなし仮設といわれる民間賃貸物件に入居された世帯にも同じ内容の備品を支援しました。

